

高森町新教育プラン

～コミュニティ・スクールを基盤とした 小中一貫教育・ふるさと教育の推進～

熊本県高森町教育委員会
教育長 佐藤 増夫

1. 高森町新教育プラン

本町では、「高森に誇りを持ち、夢を抱き、元気の出る教育」をスローガンに、平成24年3月に高森町新教育プランを策定し、高森の教育改革に取り組んでいる。重点施策は、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育・ふるさと教育」であり、そのねらいは、次の4点である。

- (1) 高森の子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」を醸成する。
- (2) 高森の地域力を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- (3) 高森町行政と連携した「教育環境の整備」を推進する。
- (4) 高森町教職員の資質を高める「高森町教育研究会の活性化」を図る。

学校が子どもたちの豊かな成長を最大限保障するためには、教職員が学校同士でつながり、切磋琢磨すること、地域ともつながり、地域とともに子どもを見守りはぐくんでいくこと、そのための教育環境を首長部局とも連携して整えていくことが、本町の教育理念である。この理念の実現には、コミュニティ・スクールの仕組みが大きな役割を果たすと考えている。

2. プラン策定の背景

改正教育基本法の新しい教育理念を踏まえた新学習指導要領が本格実施となり、教育は、新しいステージを迎えている。一方で、地方分権、規制緩和の波は、市町村教育委員会の

権限強化につながり、市町村の教育格差が広がる時代となってきている。

本町では、国や県の動向をしっかりと見据え、「高森で教育を受けてよかったと実感できる教育」の創造を目指している。新教育プラン策定には、文部科学省の次の施策を取り入れている。

(1) 地域とともにある学校づくりの

推進方策（平成23年7月）

○今後、すべての学校が、小中学校の連携・接続に留意しながら、地域の人々と目標（子ども像）を共有し、地域の人々と一体となって子どもたちをはぐくんでいく「地域とともにある学校」を目指すべきである。

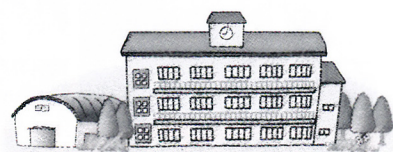
- ・今後5年間でコミュニティ・スクールを全公立小中学校の1割(3000校)に拡大する。
- ・中学校区を運営単位として、小中学校の連携・接続に留意した運営体制を拡大する。

(2) 教育特区の流れを受けた

「教育課程特例校」制度の活用

(3) 「教育の情報化ビジョン」～21世紀にふさわしい学びと学校の創造を目指して～（平成23年4月）

また、「町づくりは人づくり」「人づくりは町づくり」と、教育を重視した高森町町長の政策が、新教育プランの策定、推進に大きな力となっている。



3. コミュニティ・スクールの取り組み

本町では、平成24年度文部科学省「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の推進への取組」に係る委託事業により、コミュニティ・スクール導入に向けて取り組んでいる。

文部科学省から、町内2つの中学校区合同研究の指定を受け、平成25年12月を目途に全小中学校4校に学校運営協議会を設置する予定である。

現在、保護者、地域住民、教職員、教育委員会、学識経験者が共に集い、校区のコミュニティ・スクール推進委員会が組織され、導入への機運が高まってきている。

目指すべく新しい学校のスタイルは、①学校と地域住民等が、子ども像や学校像を共有し、それぞれが当事者意識を持ち、一体となって地域の子どもたちを育てていく学校、②それぞれの地域ならではの特色ある学校づくり、開かれた学校づくりの展開である。そのために、①学校と地域住民が、みんなでよく考え、話し合っていくこと（熟議）、②同じ目標に向かって、一緒に活動していくこと（協働）、③校長を中心に、人をつなぎ、学校の組織としての力を引き出すこと（学校のマネジメント）を発揮できる体制の構築が大切であると考える。

文部科学省の委託事業を受けたことにより2名の加配措置、文部科学省コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）の派遣及び文部科学省制度普及説明会の開催等の支援が、導入に向けての有効な手立てとなっている。併せて、東京都三鷹市、福岡県春日市等の先進地の教育実践が、高森型コミュニティ・スクール導入推進の目指すところとなっている。

4. 我が町の教育戦略

高森町新教育プランは、我が町の教育戦略であり、コミュニティ・スクールを基盤に、次の事業を展開している。

(1) 小中一貫教育の導入

- ①小中兼務辞令の申請（平成24年度～）
- ②小学校からの英語教育導入
 - ・文部科学省教育課程特例校申請により、小学校に「わくわくイングリッシュ」を創設（平成25年度）
 - ・小中一貫英語教育推進委員会の設置
 - ・大学、NPO法人、地域人材との連携
- ③小中一貫教育カリキュラムの研究

(2) ふるさと教育の推進

- ①「高森ふるさと学」の創設
 - ・文部科学省教育課程特例校申請により、小中学校に創設（平成25年度）
- ②小学校社会科副読本「私たちの高森町」の作成（平成24年度）
- ③小中学校道徳教育副読本「高森の心」の作成（平成24年度～）
- ④教育指導員の配置（平成24年度～）

(3) 教育環境の整備

- ①ICT環境の整備（平成24年度）
 - ・電子黒板の導入：全小中学校普通教室
 - ・デジタル教科書の導入：全小中学校
 - ・校務支援システムの導入：全小中学校
 - ・教務支援システムの導入：全小中学校
 - ・図書館管理システムの導入：全小中学校
- ②小学校複式学級の解消（平成24年度）
- ③特別支援教育相談員の配置

今後に向けて

高森町新教育プランは、まだ緒に就いたばかりである。今後、中長期的な観点から成果を見極めながら「高森で教育を受けたいと実感できる教育」へと高めていきたい。

